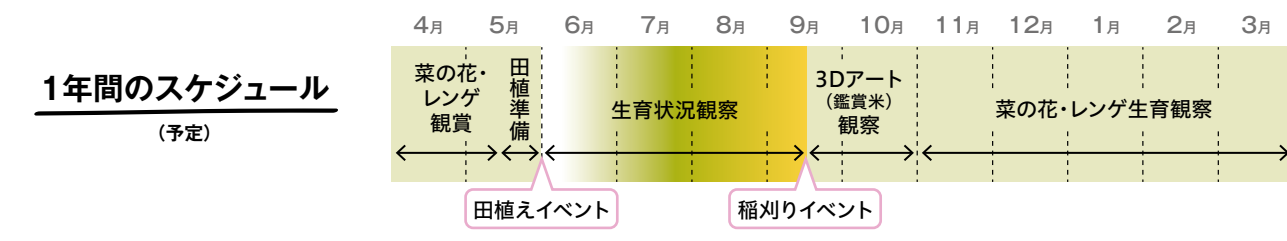


田んぼアートプロジェクトのこれから



令和3年度には田んぼアートを中心とした「田んぼアート公園」が完成予定。園内には、田んぼアートを見渡せる展望台を設置するほか、田園風景にマッチする「木」や「土」を感じる和をイメージした屋台村を設置してバラエティ豊かなグルメも提供。トイレや駐車場も整備します。令和2年度は仮設の展望台と臨時駐車場を整備し、より鑑賞しやすくなる予定です。



地域を元気にする

田んぼアートプロジェクトと一緒に盛り上げよう!



田んぼアートとは、生育すると色づく特別な稲の苗を田んぼに植え付けることで、まるで田んぼに絵を描いたかのように浮き上がってくる田園芸術。市では平成30年度にプロジェクトが始動し、1年目は先進地の青森県田舎館村等から種もみを取り寄せ、美土里町青地区で試験作付けを実施。令和元年度(平成31年度)は吉田町可愛地区のほ場で、同村等から取り寄せた6種の鑑賞米の試験作付けを行い、実際に「たかたん」を描きました。

5月12日(日)に行われた田植えイベントには市内外から350人が参加。田んぼアートが見頃を迎えた8月3日(土)、4日(日)の鑑賞会にも多くの人が特設の展望台からの眺めを楽しみました。

9月22日(日)に予定していた稲刈りイベントは台風17号の影響で中止になってしまいましたが、道の駅と並び市に観光客を呼び込む一大プロジェクトとして注目を集めています。また、稲を刈り取った後はレンゲや菜の花の種をまいて花畑として活用するなど、1年を通して楽しめるエリアとして賑わいを創出します。

気になるお金のこと

プロジェクトにかかるお金は どうしているの?

令和元年度の事業費、約1億円のうち9割近くが企業版ふるさと納税で賄われています。来年度以降も企業版ふるさと納税の寄附を活用しながら事業を進めます。

田んぼアートプロジェクトのメリット

観光	令和3年度には道の駅と合わせて約50万人の観光客増加を見込んでいます。	・新たなランドマークが誕生することで「人、モノ、金、情報」が循環し、地域の活性化(元気度)につながります ・市内に多くの観光客が訪れ、地域が賑わいます ・地域資源を生かしたプロジェクトが盛り上がることで、地域に暮らす人の故郷に対する誇りや自信につながります ・イベントに参加することで一つのモノをみんなで作り上げる楽しさや感動を味わえます
経済効果	道の駅と合わせて約12億7千万円を見込んでいます。	

イベントへの要望・ご意見

- たくさん子ども連れに来てもらえるように、遊び場も近くにできると嬉しい。(男性/市内)
- 広島市内ではあまり知られていない。これから認知度アップをお願いします。(男性/市外)
- 女性の更衣室があるとよかったです。(女性/市内)
- 市外から来てもらえるように飲食、お土産、道路の整備など、周辺の充実が大切になってくると思う。また来たいと思える場所にしてほしい。(女性/市内)



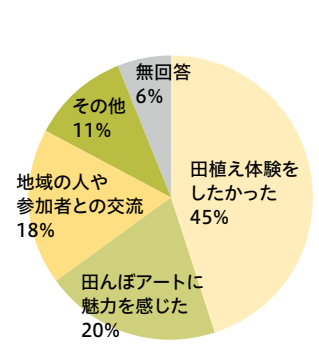
イベントの感想

- 小学生、幼稚園児もグループの方に声を掛けていただいたり、手を引いていただいたりして楽しく参加させていただきました。交流の機会に参加でき、とてもよかったですと思います。(男性/市内)
- 弟が飛び入りの参加でしたが、大切にしてくださいました。田んぼ・土の感触、田植え経験、どれも楽しかったです。また参加したいです。家も近くなので稲の成長も楽しみです。(女性/市内)
- 出来上がりが楽しみです。初めてで失敗しても、来年新たに挑戦してください。楽しく過ごせました。(男性/市内)
- 子どもに田植え体験をさせて参加しました。カエルもたくさんいて自然に触れ合えてよかったです。(女性/市外)

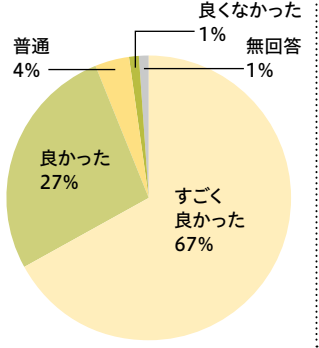
田植えイベント参加者の声

5月12日(日)に行われた田植えイベントに参加した方々にアンケートを実施しました。アンケートに答えていただいた200名以上の生の声をお届けします。

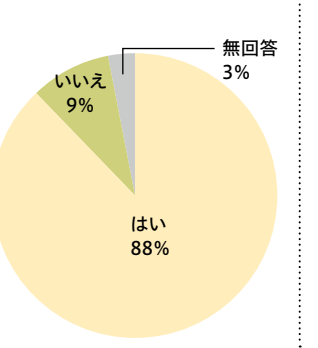
なぜ田植えイベントに参加しましたか?



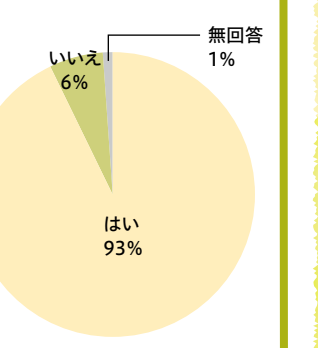
イベントは満足できましたか?



秋の稲刈りイベントに参加したいですか?



同じような農業体験にまた参加したいですか?



令和元年度の田んぼアートはホームページでチェックできます!
<https://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/syokou/m156/>

商工観光課 道の駅・田んぼアート係 ☎お太助フォン47-4024